



行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画の推進

## 第2回

まち並み景観の加速化と八幡通りの  
まち並みづくり

2019/12/16

# Contents

## 目次

### 01

#### はじめに

1. 本日説明会の目的
2. これまでの市のまち並みづくりとにぎわい創出に関する取り組み
3. まち並み景観形成モデル事業（県補助金）

### 02

#### 歴史的変遷

1. 八幡通りの歴史的な変遷（文献調査）
2. 現在の八幡通り（現状の外観状況の可視化）
3. 11/30（土）街頭アンケート結果

### 03

#### 事例紹介

1. 松山市ロープウェイ通り 【愛媛県 松山市】
2. 旧東海道二川宿地区 【愛知県 豊橋市】
3. 石岡市中町商店街 【茨城県 石岡市】

### 04

#### 意見交換

1. 景観整備のメリット・デメリット
2. 行田らしさを活かした八幡通りのまち並み景観形成（案）
3. 今後のスケジュール

01



はじめに

八幡通りのまち並みづくり・賑わい形成に向けて、下記の目的を設定。

目的  
**1**

今後目指すべきまちづくりの具体案を共に考え、実行していただけるように皆さんに考えるキッカケ（気づき）の場とする。

**01**  
はじめに

- ・当説明会の位置付け（社会的背景）を再確認  
⇒八幡通りのまち並みづくり・賑わい創出の取組み、まち並み景観モデル事業

目的  
**2**

・行田らしさ、八幡通りらしさを理解・共有するために歴史的変遷と現状を把握。

**02**  
歴史的変遷

- ・八幡通りの変遷
- ・現状の八幡通りに関する外観状況の可視化

・にぎわい創出を実現している（取り組んでいる）先進事例のご紹介。

**03**  
事例紹介

- ・道路空間の再編により歩行者通行量が増加した事例
- ・地道な景観形成の取組で賑わいを取り戻している事例 etc

目的  
**3**

・来年、再来年での修景整備実現に向けて、皆さんの機運を高める。

**04**  
意見交換

- ・八幡通りの街並み景観づくりの方向性 ⇒ 課題抽出と目標設定
- ・今後のスケジュール



## 第5次総合振興計画（H23年3月策定）策定、行田市都市計画マスタープラン（H25年3月）の上位計画を基に、行田市各課はじめ様々な主体が取り組んでいる

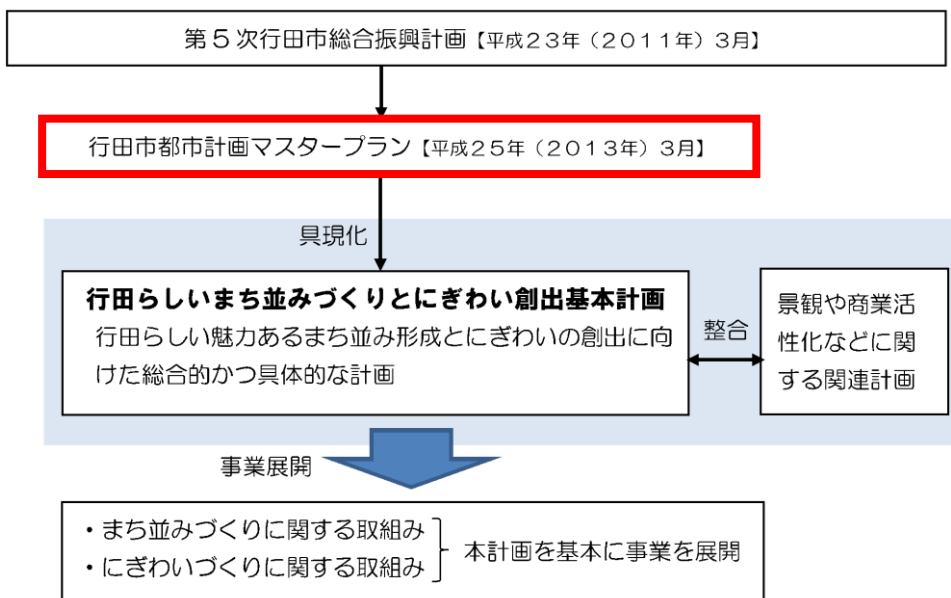
年度	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)
トピック	のぼうの城 映画	都市マス 策定	まちにぎ 計画策定	田んぼアート ギネス認定		陸王 ドラマ 日本遺産認定		
総合施策		景観WS	行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画					
ハード	行田市 都市計画課		まちにぎWS	都市再生整備計画事業				
				歴史的街路整備事業				
				まちにぎWS	緑化活動			
	行田市 企画政策課	行田市ふるさとづくり事業						
ソフト	行田市 企画政策課 商工観光課 文化財保護課				足袋のまち行田活性化プロジェクト			
						日本遺産魅力発信推進事業		
観光客※ (増減率)	12,406	11,155 ▲10.1%	10,869 ▲2.6%	10,352 ▲4.8%	13,372 +29.2%	15,168 +13.4%	—	—

※観光案内所の観光入込客数

## 上位計画：都市計画マスタープラン（H25年3月）

- ・八幡通りが含まれる中心部地域の将来像を「水と緑を身近に感じ、歴史の風格が漂う歩いて暮らせる便利なまち」と定め、施策の一つに「歴史資源を保全・活用した街並み景観の形成」と明記
- ・当計画に基づき、行田市各課が具体施策を実行

### ■ 上位計画の位置付け



### ■ 中心部地域の構想

## 中心部地域

水と緑を身近に感じ、歴史の風格が漂う  
歩いて暮らせる便利なまち

・忍川や酒巻導水路の親水護岸や遊歩道の整備促進

・駅周辺における駐車場・駐輪場の整備促進

・(都)常盤通佐間線の整備促進

・かすが緑道の整備

・忍城址周辺の整備

・水城公園の施設充実

・歴史・文化資源を活用した界わいの整備

・駅周辺における駐車場・駐輪場の整備促進

・橋上駅のバリアフリー化

・空き店舗活用の促進

・オープンスペース等の整備

・足袋蔵等歴史資源の保全・活用

・歴史資源をめぐるルートの充実

公園の整備

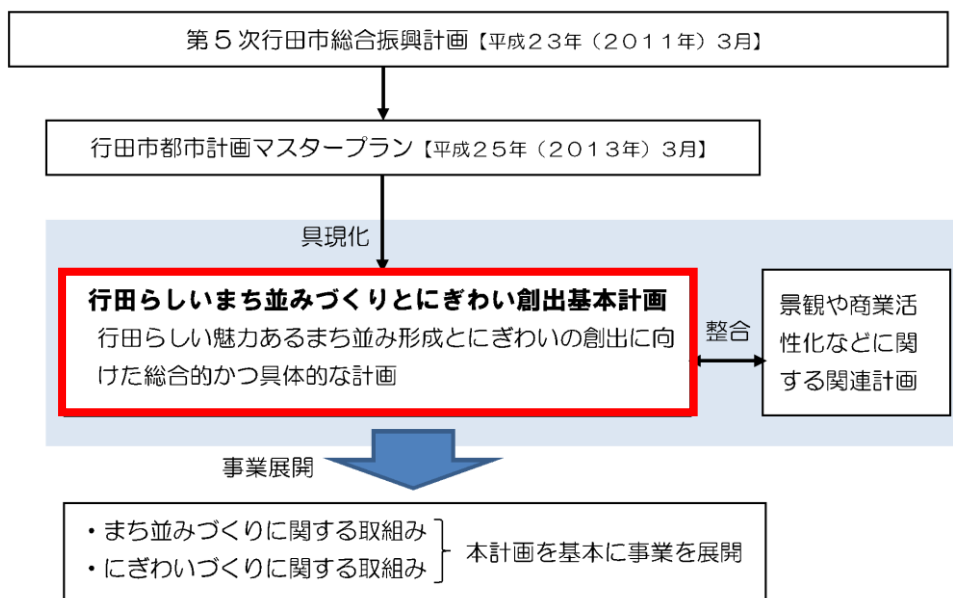
歩行者空間の充実

0 1 2 3km

## 上位計画：行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画（H26年3月）

- ・都市計画マスタープランを基に、本町通り周辺（にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸）、八幡通り周辺（界わい・まちかど）等のモデル地区を選定し具体施策を明記
- ・八幡通り周辺の取組みは「にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる」

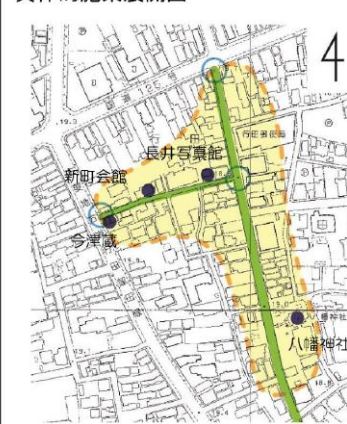
### ■ 上位計画の位置付け



### ■ 八幡通り周辺

にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる

具体的施策展開図



主な具体的施策

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ・市民との協働による路地空間の緑化の推進            | — |
| ・ユニバーサルデザインによる歩行者空間などの整備        | — |
| ・案内表示と誘導サインの整備                  | ○ |
| ・歴史的建築物と調和したまち並みに向けた外観や塀などの修景整備 | □ |

具体的施策イメージ図



## 上位計画：行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画（H26年3月）

- ・都市計画マスタープランを基に、本町通り周辺（にぎわいや歴史・文化が感じられるまち並み軸）、八幡通り周辺（界わい・まちかど）等のモデル地区を選定し具体施策を明記
- ・八幡通り周辺の取組みは「にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる」

### ■ 段階的な景観形成イメージ



※上記の整備イメージ図は参考例。実施にあたっては市民の合意形成を図り進めるものとします。



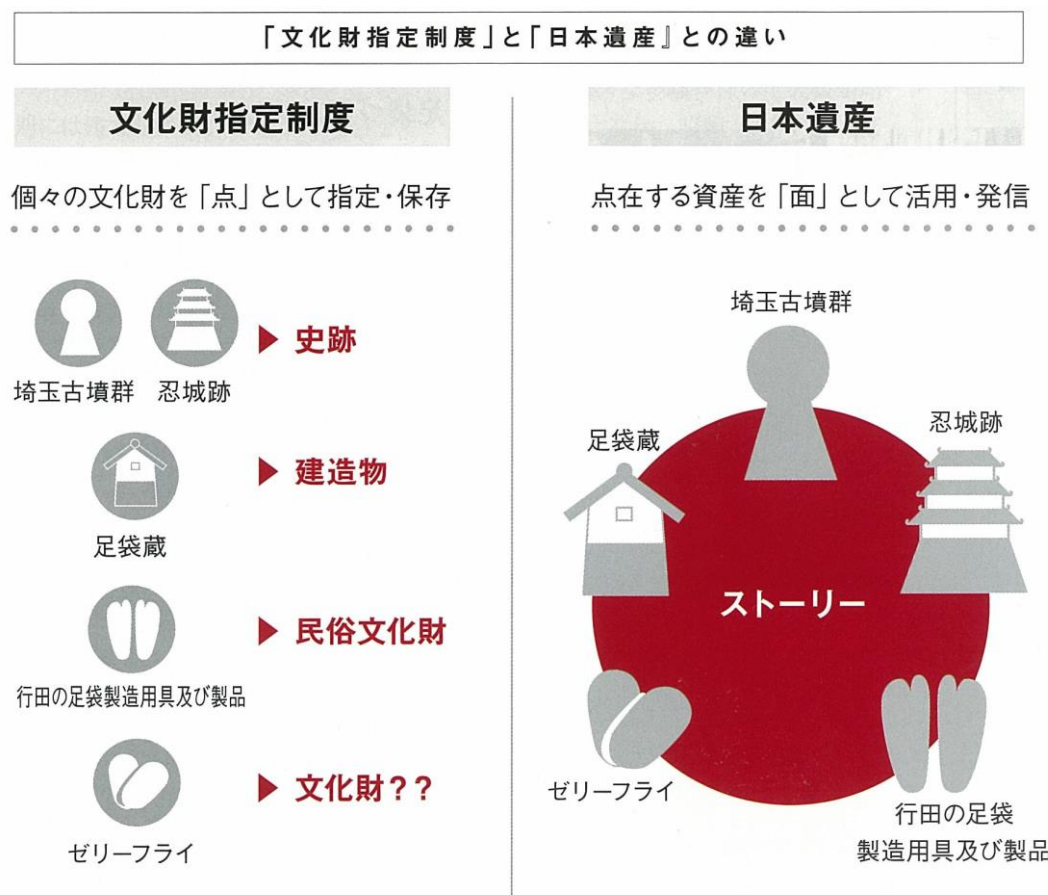


JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 日本遺産とは

- ・文化庁が平成27年度に創設した新しい文化財制度
- ・地域に点在する文化財を把握して“ストーリー”によるパッケージ化を図り、地域主体で総合的に整備・活用し、世界へ戦略的に発信して地域の活性化を図る
- ・現在100件を超えるストーリーが認定されている



※文化財指定制度は、国指定、県指定、市指定、国登録とランク付けされています。





JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 行田市の日本遺産ストーリー “和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田”

- ・平成29年4月認定
- ・現在も足袋の生産は続いており、日本一の産地として時折流れるミシンの音と共に、裏通りに趣のある足袋蔵の街を形成。“蔵”のまちは数あれど、“足袋蔵”のまちは行田のみ。
- ・江戸後期から※100年以上の長きに渡り、その時代の建築様式を取り入れながら土造・石造・RC造、木造等多種多様な足袋蔵が約80棟現存し、足袋産業の繁栄を想起させる。

### ■構成資産 44件

史跡	4件	埼玉古墳群、忍城跡etc
古文書	4件	享保年間行田町絵図etc
建造物	29件	十万石ふくさや行田本店etc
有形文化財	2件	行田足袋、製造用具・製品
無形文化財	5件	初午祭り、ゼリーフライ、フライetc



- ・「訪れたい」「誇りに思える」「参加したい・つくってみたい」まち並みづくり
- ・景観形成モデル事業では、区間を定めて3か年で改修まで実施、知見を他市町村へ波及させる

## 現状

- ・古民家などの歴史的資源を活用したまち並み景観づくりの重要性が増大
- ・歴史的資源を保全活用する「歴史のみち広域景観形成プロジェクト」にて、景観講演会やまち歩きを実施



埼玉県「歴史のみち広域景観形成プロジェクト」

賑わいを創出する景観形成を加速させるためには、  
「地域住民の一体感の醸成」、「改修費用の負担」という取組上の課題あり

事業内容  
【3か年】

- 【ハード面への支援】 建物所有者等が行う外観修景整備に対する補助
- 【ソフト支援】 住民の意識醸成を促進する勉強会等への講師派遣や補助事業実施に係る補助

事業効果  
【ねらい】

- ・観光入込客数の増加、地域住民の地元への愛着心向上による地域活性化、にぎわい創出
- ・まち並み景観づくりに係る知見の蓄積、他市町村への波及によるまち並み景観づくりの促進

八幡通り  
が選定された理由

- ①歴史的街路整備事業実施
- ②賑わい創出につなげられる商店や空家・空き店舗の存在
- ③歴史的建築物や観光資源が点在しているため、観光客の回遊性が見込まれる

# 02

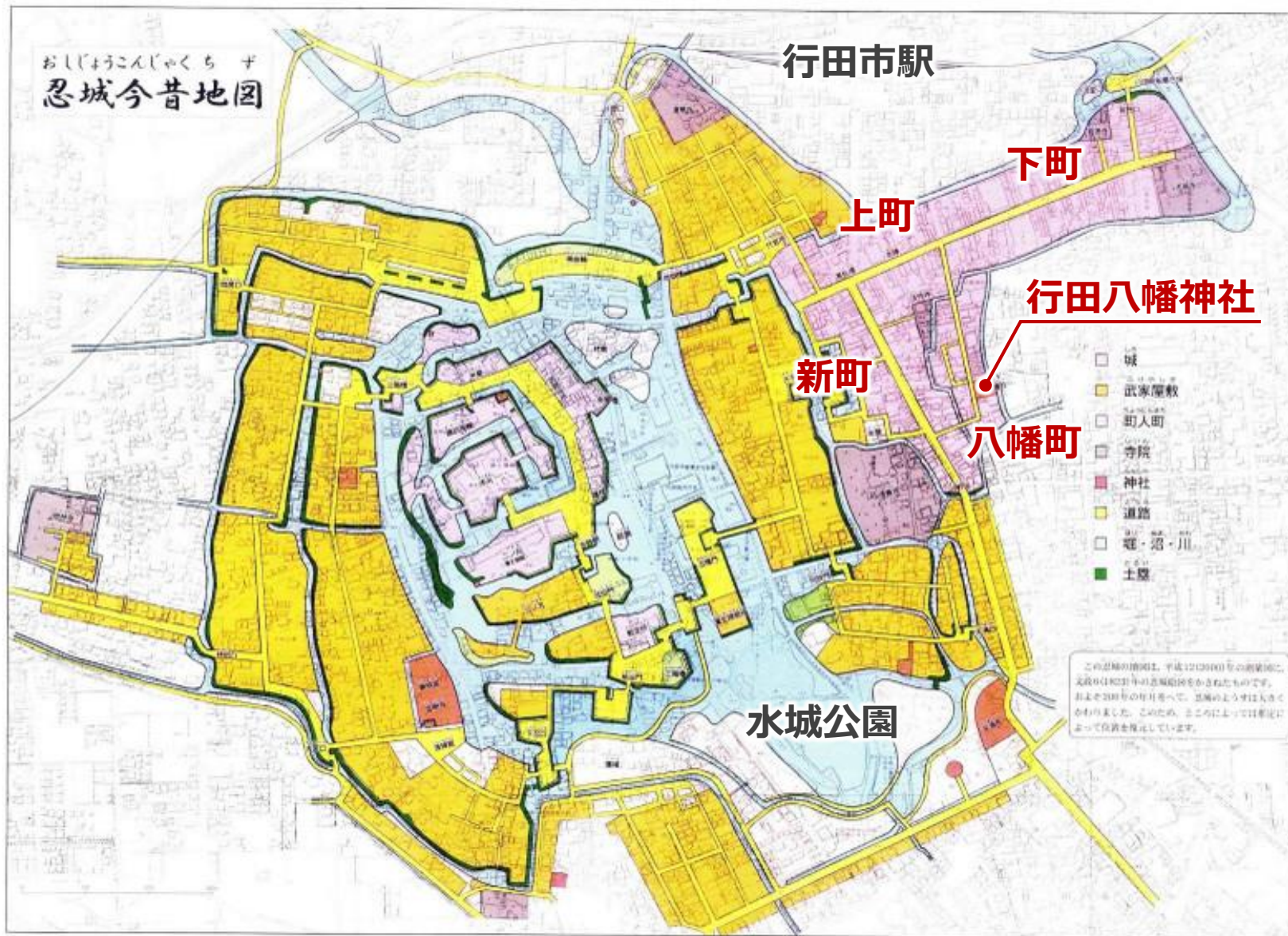
---

歷史的變遷



- ・行田市史等による文献を参照し、八幡通りの歴史的な変遷を示す
- ・今後、近代（明治以降）の変遷を住宅地図や行田市史の風俗編等で追調査

■ 忍城今昔地図 （2000年の地図に文政年間（1818-1830）忍城図を重ねた地図）



- ・八幡町（八幡通り）は行田八幡神社が現在地に移転した1655年から開発
- ・大工等、建築職人の居住地として街びらきしたことから“大工町”とも呼ばれた

#### ■ 八幡通りに係る特筆事項をまとめた年表

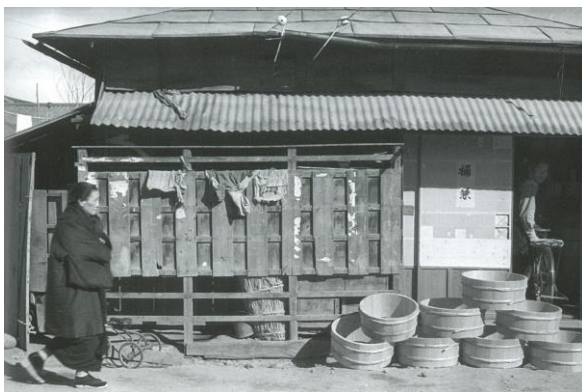
西暦	和暦	内容
1000～1070頃	—	<b>行田八幡神社建立（こんりゅう）</b> 源頼義・義家の奥州討伐の滞陣時に勧請されたと伝えられている
1479以前	文明11	忍城築造
1544	天文13	行田三町（上町、下町、新町）に町家が建ち始める
1590	天正18	石田三成による水攻め
1617	元和3	日光東照社成立 日光道中の脇往還として行田町は宿場機能を持つ
1655	明暦元	<b>行田八幡神社が佐間村田中から移転、八幡町が開発される</b> 大工棟梁1人、肝煎1人、平大工25人、木挽5人、鋸鍛冶1人ら建築職人の居住地となる
1716～1735	享保	<b>享保年間行田絵図</b> 八幡町では67棟、職業は41軒確認できる 足袋職・商については四町全体で4軒
1830～1844	天保	<b>天保年間行田町絵図</b> 八幡町では55軒が確認できる 足袋職・商については四町全体で27軒
1871	明治4	廃藩置県 忍藩は解体⇒忍県⇒埼玉県へ
1873	明治6	忍城が一部土塁を残し取り壊し





## ・本整備の対象となる沿道の外観状況を調査し、項目毎に整理して可視化

■ 昭和30年頃の八幡通り



■ 外観調査項目



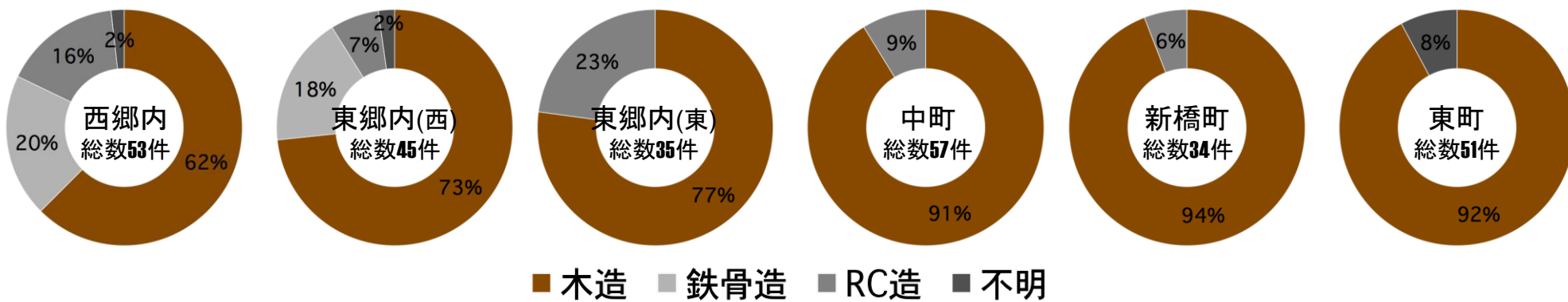
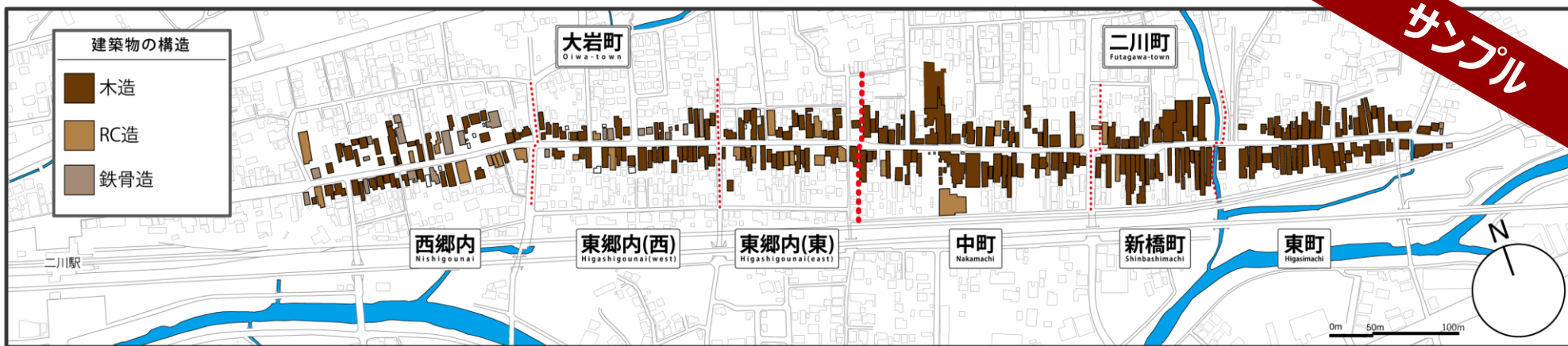
- 構造
- 建築年数
- 壁面
- 外壁材
- 開口部・格子
- 広告物
- 基調色・強調色
- 1Fの用途





## ・本整備の対象となる沿道の外観状況を調査し、項目毎に整理して可視化

■ 外観調査項目の可視化  
(例：愛知県豊橋市 旧東海道二川宿)



## ・整備効果の指標となる歩行者通行量調査（事業前）の実施

### ■ 歩行者交通量調査概要（案）

調査日時	平日1日、休日1日 07:00~19:00 (12h)
調査地点	地点1 行田郵便局駐車場付近 地点2 明治安田生命さきたま営業所付近 地点3 行田八幡神社駐車場付近
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地点毎に調査員を配置</li> <li>・方向別・時間別に観測</li> <li>・通行人属性分類 5種               <ul style="list-style-type: none"> <li>①一般、②高齢者、③車いす</li> <li>④杖利用者、⑤ベビーカー</li> </ul> </li> </ul>

### ■ 歩行者交通量調査地点（案）

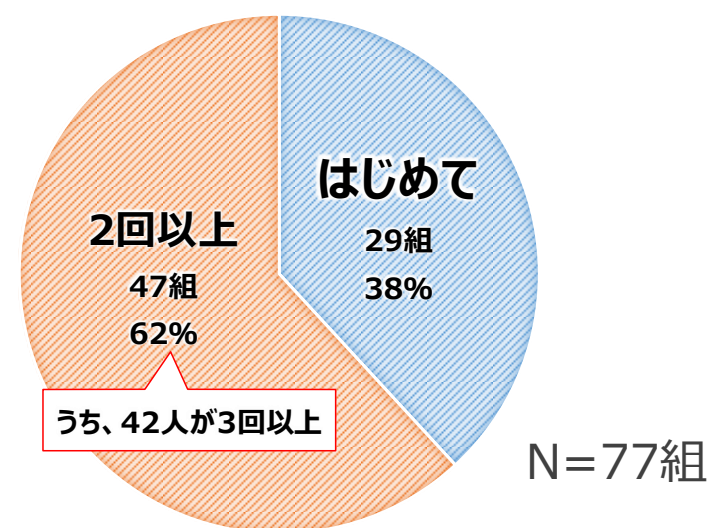


- ・11/30 (土) に行田八幡神社にて街頭アンケートを実施
- ・来訪者回数については、3回以上が半数以上の42組いた

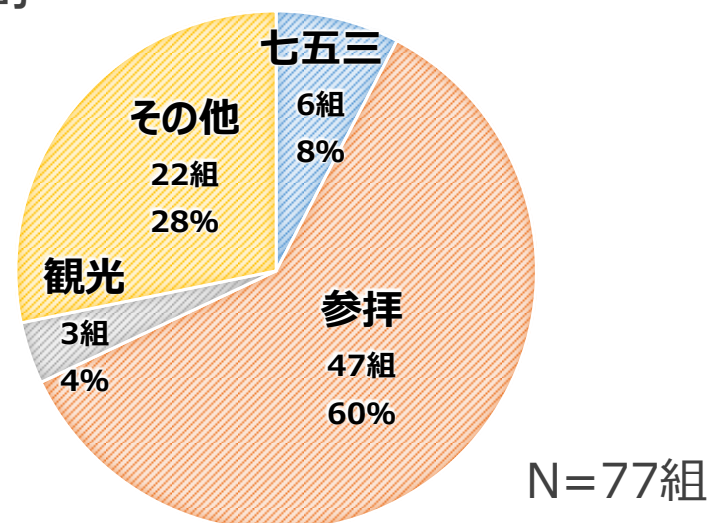
### ■ 調査概要

調査日時	2019年11月30日 (土) 09:00~14:00
調査方法/場所	行田八幡神社にて個別聞き取り方式
被験者数	77組
主な聞き取り内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・属性 (性別・住まい・グループ人数・年齢)</li> <li>・八幡神社への来訪回数、目的</li> <li>・あれば寄りたい場所</li> <li>・地域活性化・賑わい創出につながる外観イメージ</li> <li>・まち並み整備に関する好感度</li> </ul>

### ■ 八幡神社への来訪回数



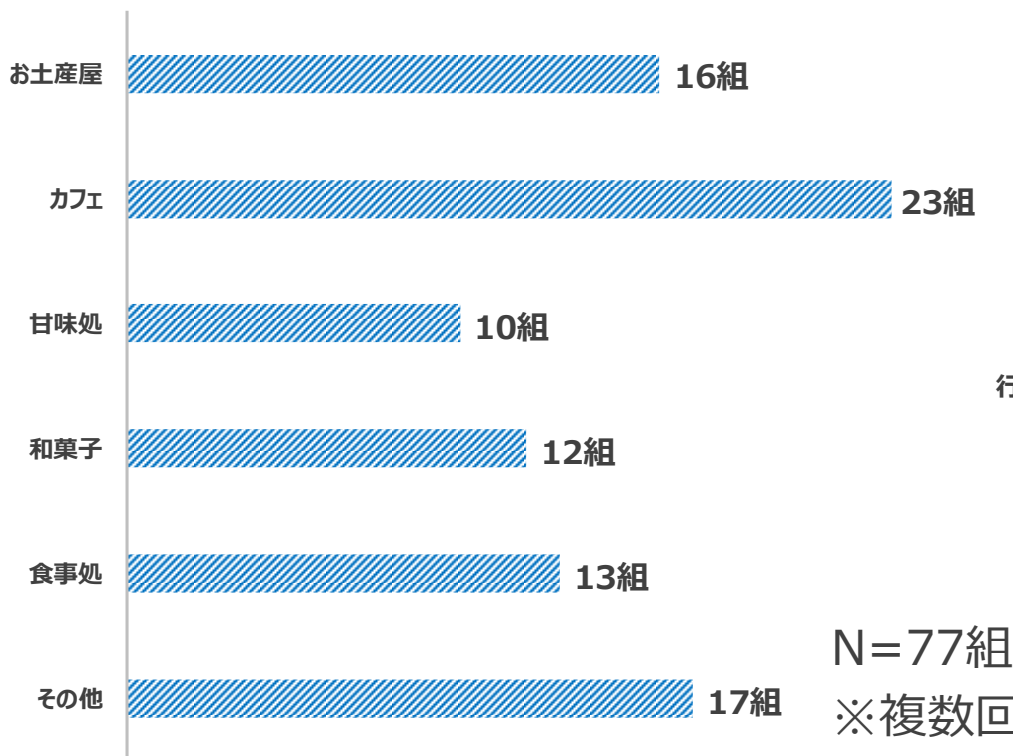
### ■ 訪問目的



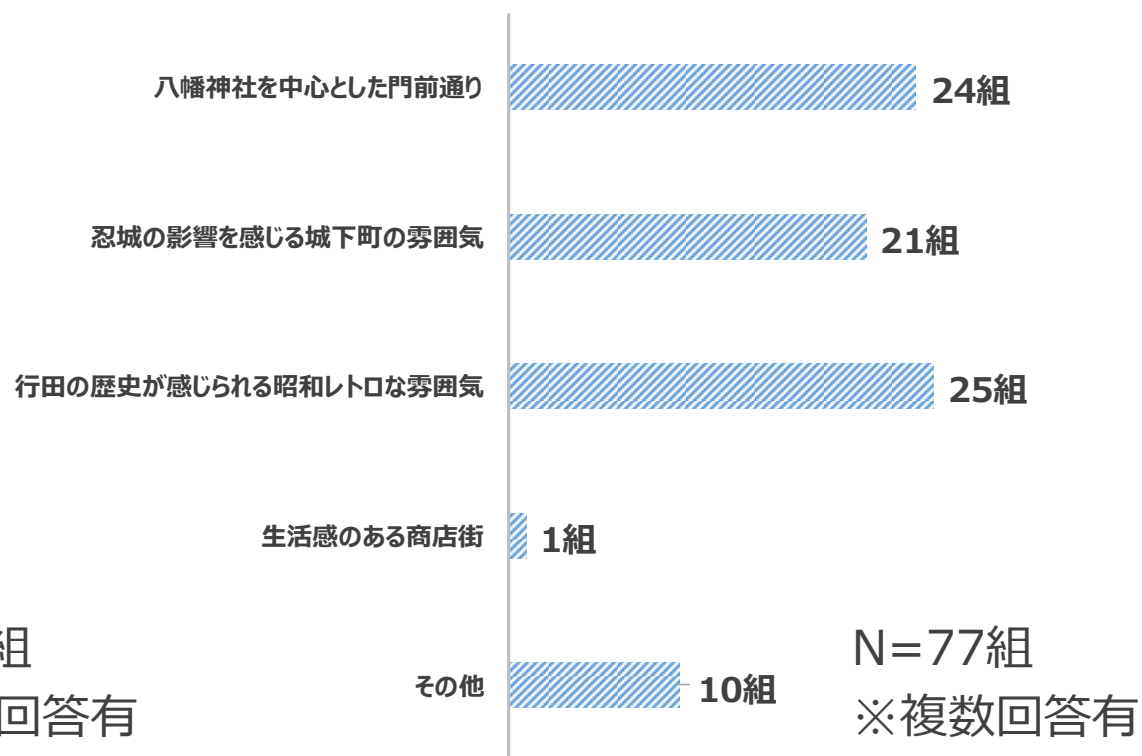


- ・神社周辺にあれば寄りたい施設としては「カフェ」が最も多い
- ・外観イメージについては、「行田の歴史が感じられる昭和レトロな雰囲気」が最も多い

### ■ 神社周辺にあれば寄りたい施設



### ■ 地域活性化・賑わい創出につながる外観イメージ



### その他の意見

休憩場所、食べ歩ける、駐車場、ご当地もの、コンビニ、行事・イベント、おもちゃ屋、トイレ など

### その他の意見

無電柱化、人の流れがある通り、蔵づくり、人が集まるスポット、おしゃれなカフェ、ありのまま、食べ物屋がある通り、景観を崩さない

# 03



事例紹介

## それぞれ特徴を持った3事例を紹介

## 01

松山市ロープウェー通り  
【愛媛県 松山市】

## 視 点

- 道路空間の再編と外観修景により、歩行者通行量が増加した事例

## 02

旧東海道二川宿地区  
【愛知県 豊橋市】

## 視 点

- 地道な景観形成の取組で賑わいを取り戻している事例

## 03

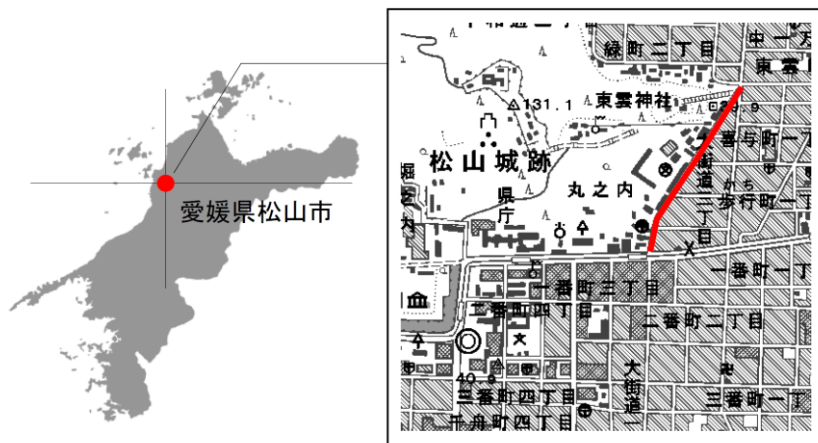
石岡市中町商店街  
【茨城県 石岡市】

## 視 点

- 八幡通りと類似（人口規模、商店街延長、神社あり）

歩行者に配慮した道路再整備、デザインガイドラインによる沿道建物外壁面の整備等により、歩行者交通量が約3.5倍（約2,000人⇒約7,100人）に増加。

### ■ 位置図



### ■ 概要

概況	中心市街地から松山城や坂の上ミュージアムへのアクセス動線
道路延長/幅員	約500m / 約7.5~9.5m
商店会・自治会	3商店会 120店舗
期間※	1999年~2006年（7年間）
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無電柱化、車道を2車線から1車線化、舗装の美装化</li> <li>・デザインガイドラインの策定、沿道景観の修景</li> <li>・商店会主催イベントの勃興</li> </ul>

※道路整備事業について、修景や商店街イベントはもちろん継続

### ■ 整備後のロープウェイ通り

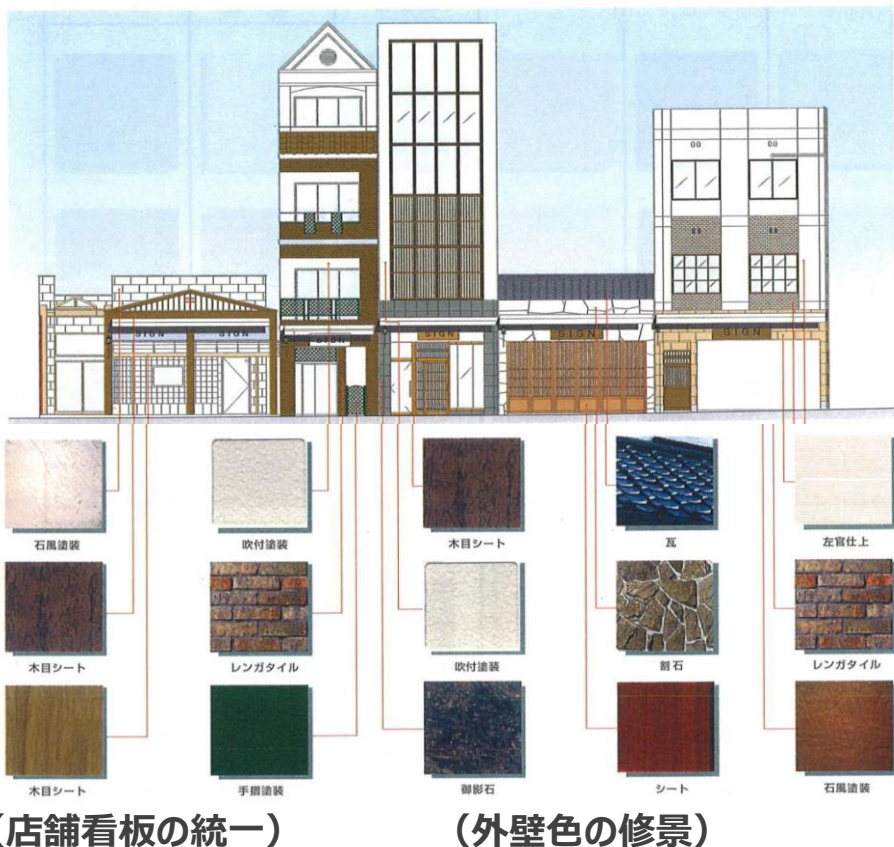


- ・2014年 経産省「頑張る商店街30選」に選定
- ・2016年 国交省「都市景観大賞」に選定

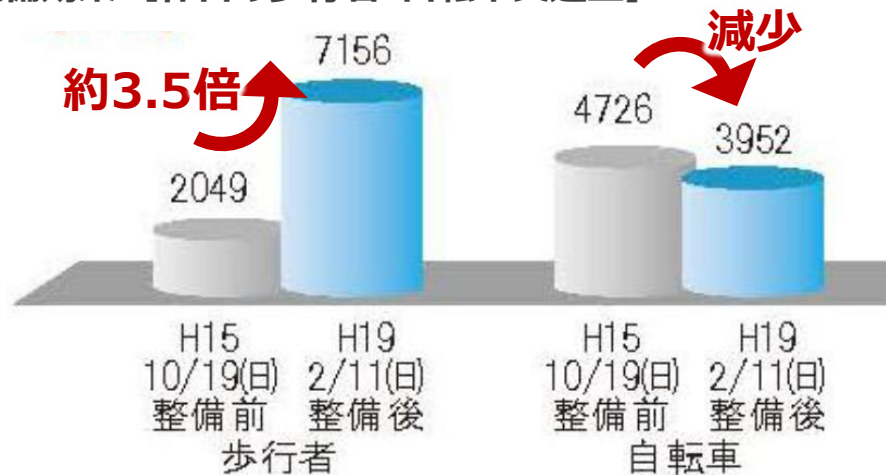


- ・アーケードを撤去し、自主的なまちづくりに関する協定とデザインガイドラインを締結
- ・歩行者交通量が3.5倍に増加、沿道の営業店舗数が1.5倍に増加

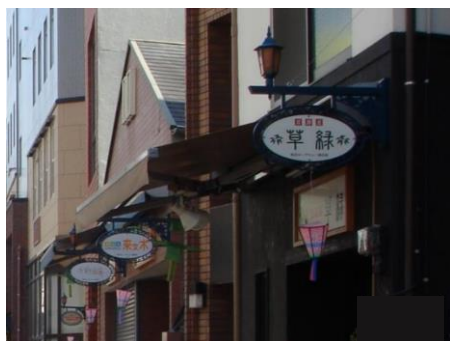
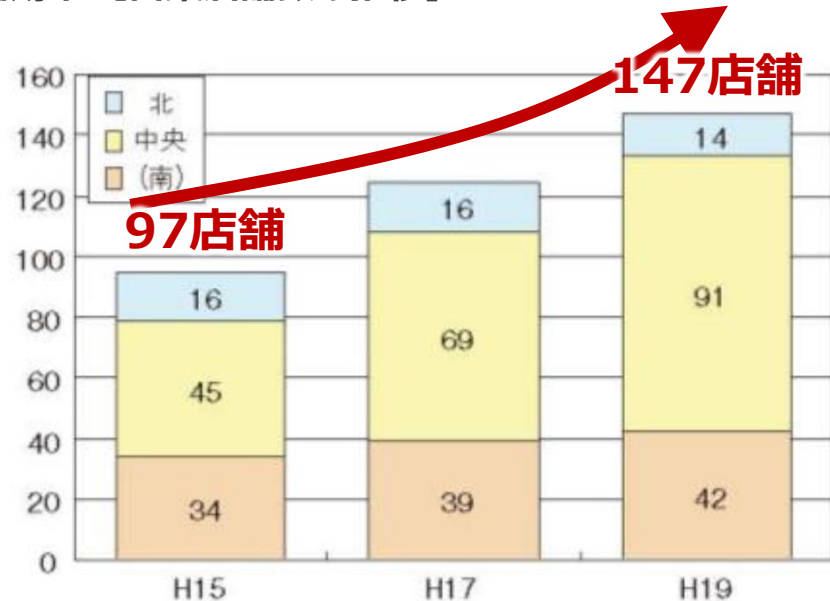
### ■デザインガイドライン（外装仕上げ例）



### ■整備効果【休日の歩行者・自転車交通量】



### ■整備効果【営業店舗数の推移】





- ・道路供用後、地元の主体的な活動が開催。「門前祭り」「夜間イルミネーション」「風鈴飾り」
- ・質が高く情報量の多い、商店会運営のホームページの継続運営。

## ■ 門前祭り



## ■ 商店会ホームページ



## ■ 夜間イルミネーション

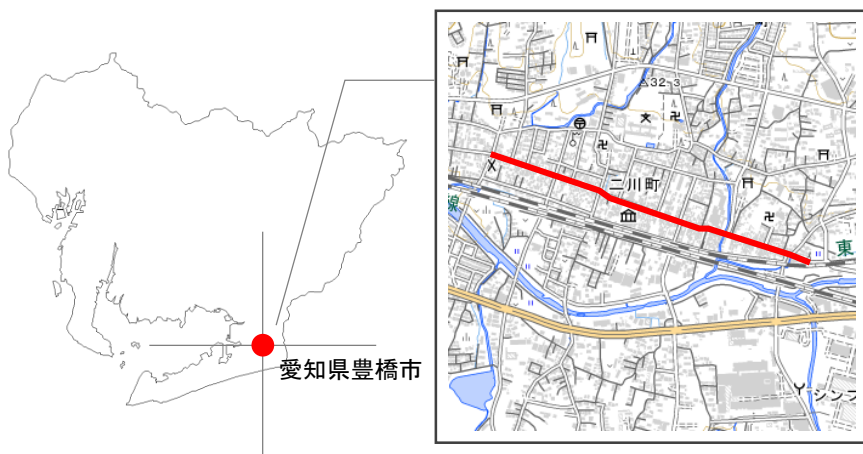




伝統的建造物群保存地区に選定されるには至らない、どこにでもあるような古いまち並みを、10数年続く地道な地域住民の活動で活気を取り戻し、魅力を向上・活性化させている好事例

・2016年 国交省「都市景観大賞」に選定

### ■ 位置図



### ■ 本陣の残る東海道宿場町 現二川宿資料館（公共施設）



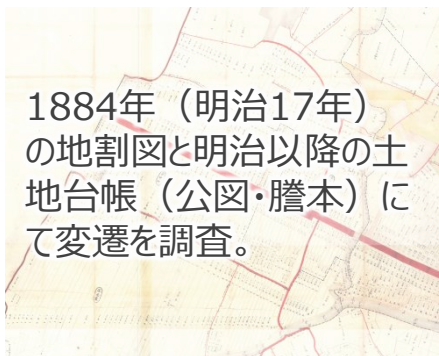
### ■ 概要

概況	豊橋市街から約8km(2駅)、本陣が残る旧東海道33番目の宿場町
道路延長/幅員	約1.3km / 約5~10m※
商店会・自治会	5字地区 222軒※
期間※	2007年～
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観条例に基づく景観形成地区に指定しデザイン誘導</li> <li>・まち並み景観再生をキッカケに年々広がり続ける地域イベントと住民活動</li> </ul>

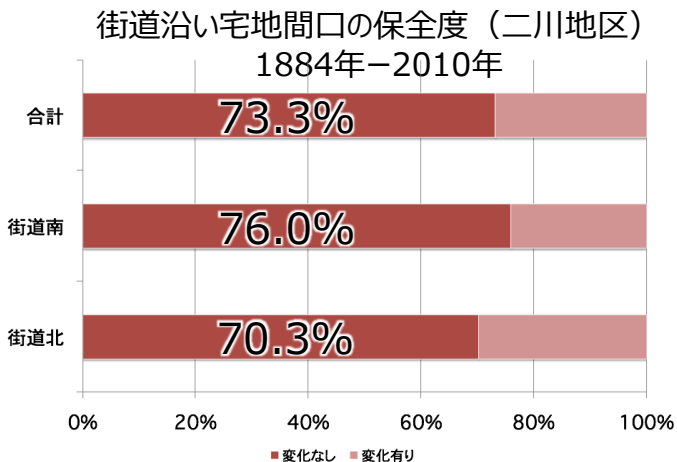
※1柵形含む ※2 2010年研究時より類推

## 約7割が保全された町割り、市が寄付を受け修復した本陣・旅籠屋・商家を中心とする宿駅遺構を核に、まちづくり協定を締結して30件を超える補助金が出され修景が実施されている

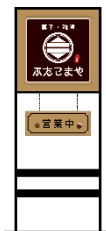
### ■ 町割りの変遷



1884年（明治17年）の地割図と明治以降の土地台帳（公図・謄本）にて変遷を調査。



### ■ 商家「駒屋」 地元住民が組織したNPOが指定管理を受け運営



◀ カフェや雑貨屋の収益事業、広場での自主事業を実施

### ■ 30件を超える助成金が出され、修景の実施

#### ■ ブロック塀の上から板を貼った事例



▲工事前



▲完了後

#### ○ 脇本陣跡への門の設置と玄関周りの改修（H21年度）



▲しゅん工（正面）



▲工事前

#### ○ 既存店舗の外観の改修（H21年度）



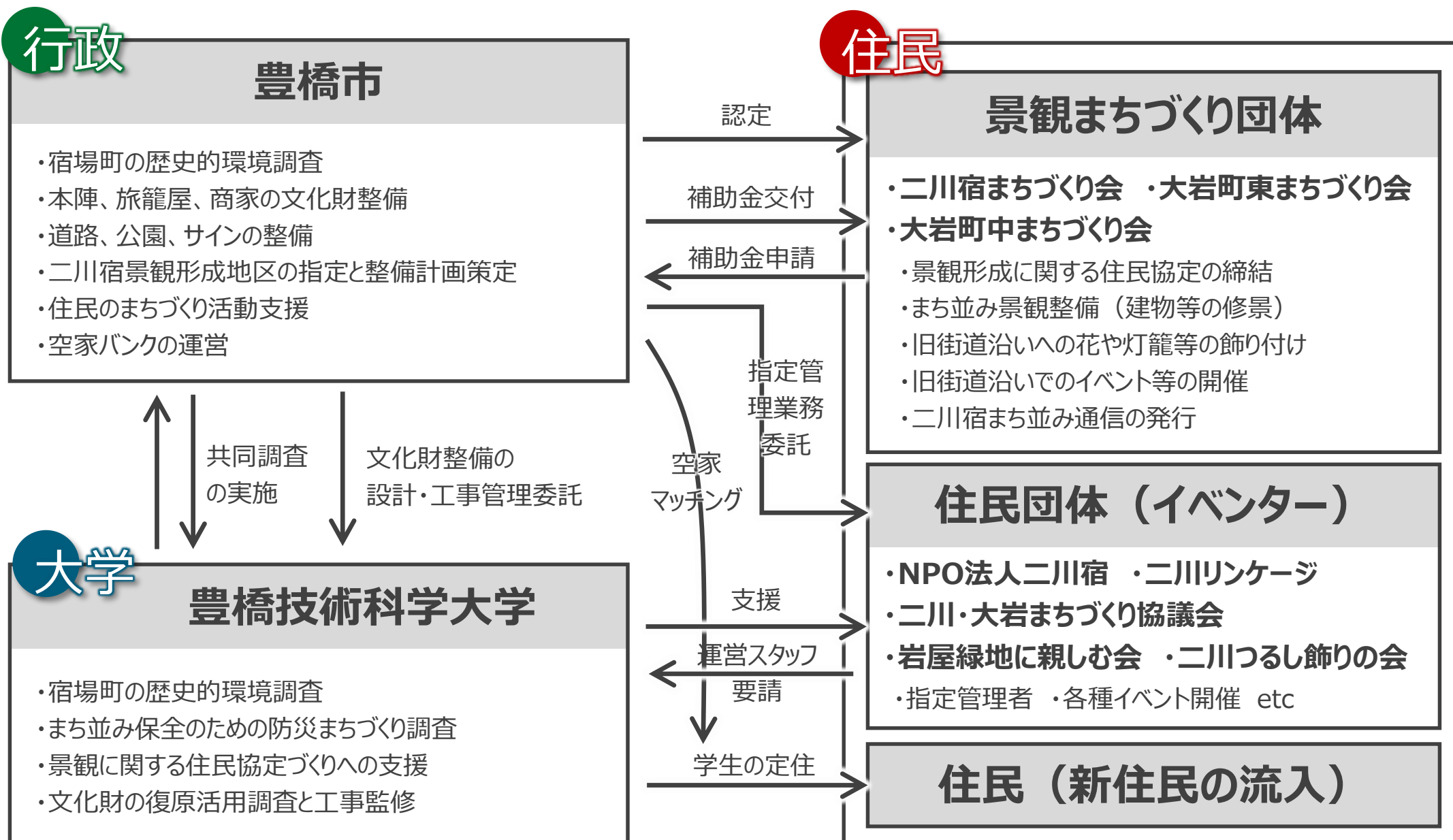
▲しゅん工（正面）



▲工事前（ピンク色の外観）



行政・住民（住民団体）・大学がそれぞれの立場や専門性を活かし、10の団体が旧宿場町の風情ある景観形成に協同で取り組んでいる。



どの地域にもある伝統や文化を守りながら新しいものを取り入れ、住みやすい地元をつくるために住民組織が発足し景観まちづくり団体へ。隣地区に連鎖して緩やかに広がり宿場町の風情を高める。

■夏の風物詩として定着した「灯籠で飾ろう二川宿」



■景観整備が進み、既存の祭りが映えるまち並みへ



二川宿祭  
大名行列



二川八幡  
神社例大祭

■街道を飾る一輪挿し



■日本の伝統色で染めた日よけのれん





どの地域にもある伝統や文化を守りながら新しいものを取り入れ、住みやすい地元をつくるために住民組織が発足し景観まちづくり団体へ。隣地区に連鎖して緩やかに広がり宿場町の風情を高める。

## ■学生の定住



# 二川宿まち並み通信

第18号 平成29年1月15日  
発行：「二川宿」まちづくり会  
大岩町東まちづくり会  
大岩中まちづくり会  
協力：豊橋市都市計画課

【特集】

## 学生さんが旧街道沿いの空家を改修！

ご存知でしたか？二川駅北口から旧街道沿いを東へ歩いてほどなく、空家だった建物を豊橋技術科学大学の建築系の学生さんが借りて住みながら改修をして、近隣住民の方と交流を深めながら二川のまちにとけ込んで学生生活を送っています。この場所は二川宿景観形成地区外ですが、建物の外観を二川宿のまち並みに合わせて、自分たちの手で景観整備を行うということでお話をうかがってきました！



▲空家に住みながら自分たちで改修をしている豊橋技術科学大学の修士1年の前田君(左)、荒川君(中)、村松君(右)。写真は外観の改修前の様子。



▲内部も自分たちの手で改修



▲みんなで「しっくい」の準備

## ①きっかけは「空家バンク」。

**Q：始めたきっかけは何だったのですか？**

A：近年全国的に空家の増加が問題となっています。僕たちは建築の学生として、この課題に興味をもちました。そんな時、豊橋市の「空家バンク」でこの建物に出会いました。二川宿のまちづくりに魅力を感じ、まちの活性化につながる空家の活用を実際に住みながら自分たちの手で行いたいと思い始めました。

## ④今後もいろいろ考えてます。

**Q：今後の取り組みは？**

A：地域住民の皆さんとの関わりを広げられるような空間利用や、他の学生にもまちの魅力に気づいてもらえるような活用機会を設けていきたいと思っています。

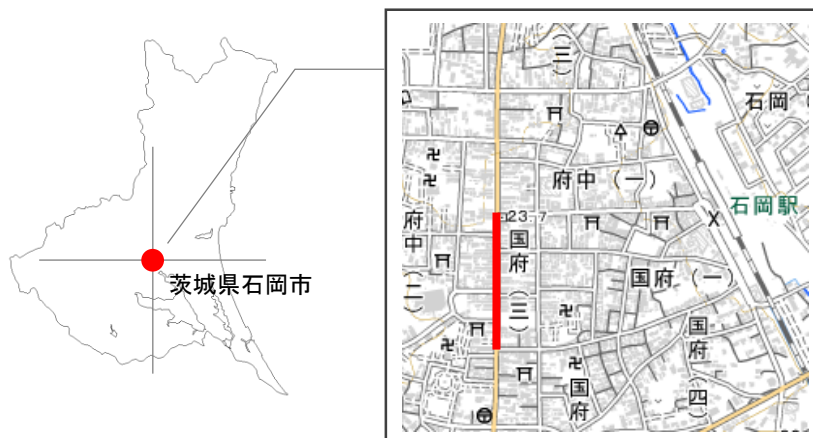


▲灯籠まつりへ参加



- ・人口規模が同等であり（行田市8.1万人 石岡市7.6万人）かつ対象通りの延長も同等程度
- ・商店街外観修景事業に伴い、商店会の機運が醸成されソフト施策も含めた商店街の再生へ

### ■ 位置図



### ■ 概要

概況	国道沿いの商店街。金毘羅神社あり、JR石岡駅から徒歩5分
道路延長/幅員	約0.3km / 約5~10m※
商店会・自治会	1商店会振興組合 委員20名
期間※	1996年～2005年※
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和の看板建築が残る和と洋が混在する街</li> <li>・電線地中化に伴い、看板位置と外観デザインを整え、修景事業を実施</li> </ul>

※ファサード修景は2002年から3年間で実施

### ■ 外観整備の修景前と修景後



修景前



修景後

- ・石岡市は奈良時代に国府配置、霞ヶ浦の水運港として発達etc 歴史的遺産が数多く点在
- ・昭和4年の大火後、商店街が最も繁栄した昭和30年代を目指し整備コンセプトを決定

#### ■ファサード整備イメージ図の作成



#### ■長い歴史を有す金毘羅神社



#### ■まちづくりコンセプト「昭和」

中町商店街再生に向けてのまちづくりの考え方

まちづくりコンセプト

# 昭和ロマン

昭和4年の火災後中町商店街が再建された。その当時の再建は、大正をイメージしたものだった。

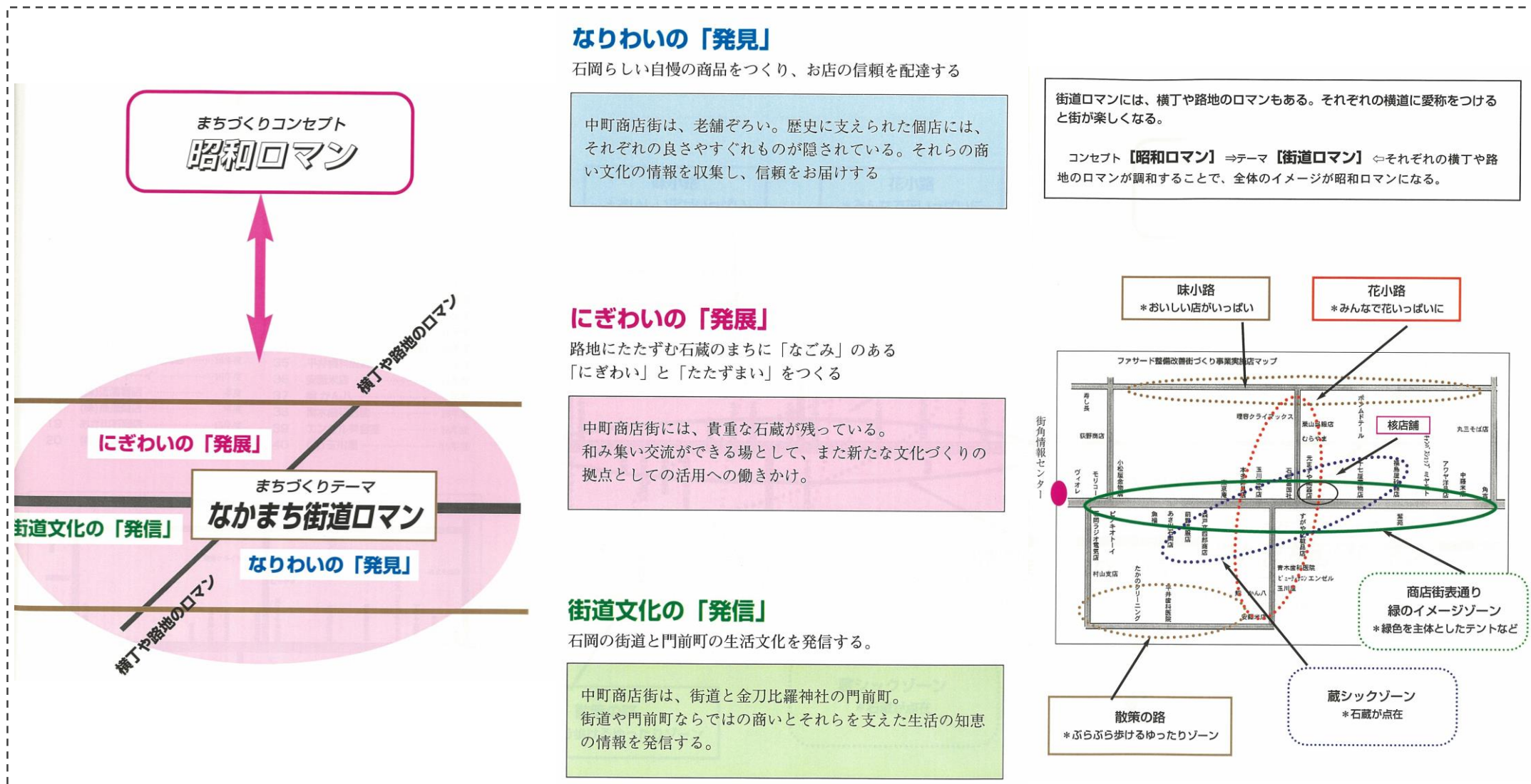
昭和30年代商店街は最盛期を迎え、アーケードもつくられ、大勢の客が列をなし賑わった。私達が大正時代を懐かしみ、大正ロマンと呼んでいたように、昭和も、平成の時代を迎え、ロマンの対象になってきた。さらに、昭和時代を説明できる語り部も残っている。その時代を、商人とお客様とが共通して持つ懐かしさは、交流する時の会話のきっかけとなる。

中町商店街の共通のコミュニケーションワードは「昭和」、そこで、再生計画のコンセプトは、歴史的背景と今後の発展を考え、「昭和ロマン」をテーマに構築する。



- ・石岡市は奈良時代に国府配置、霞ヶ浦の水運港として発達etc 歴史的遺産が数多く点在
- ・昭和4年の大火後、商店街が最も繁栄した昭和30年代を目指し整備コンセプトを決定

## ■整備コンセプト「昭和ロマン」





- ・空き店舗を利用して新たなテナント誘致へ
- ・歴史的な外観を残す建築物には、看板の変更や商いのメインの商品を名称を暖簾に刻む

#### ■ 空き店舗を利用したテナント誘致 チャレンジショップ市場



#### ■ 中藤商店（米屋）





・洋風の外観を有す建築物においても、統一感を持たせるオーニング（庇下のテント）等のデザインアイテムで統一、外観の基調色をまち並みに馴染む配色へ

■ 農機具販売 「石岡富国屋」



■ パンとケーキの店 「ヴィオレ」



# 04



意見交換



- ・景観整備をしないよりは行う方が環境価値は高くなる。
- ・通り全体の景観整備における合意形成には時間が必要。本事業を活用し、短期的にできることを実行して継続（スモールアクション）させ、長期的なあるべき姿（目標）に到達する。

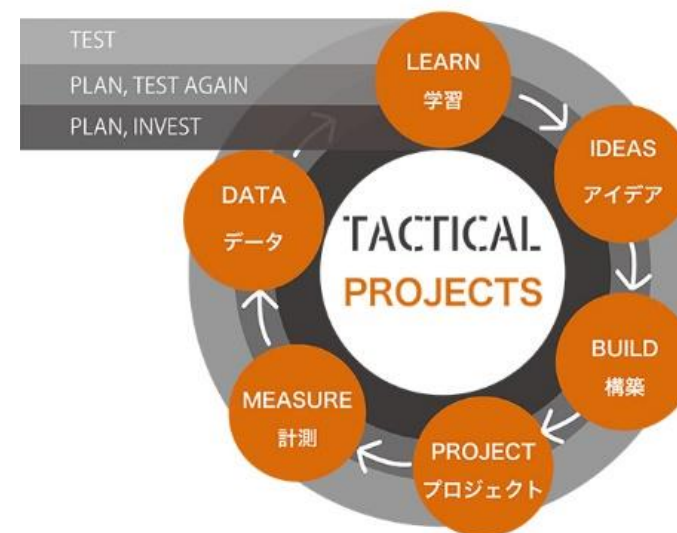
### ■ 景観整備における住民のメリット・デメリット

- ・ まち並みが整っていないより、整っている方が環境価値（≒経済的価値、不動産価値）は高くなる
- ・ 景観整備の取組みを通じて、地区に対する愛着や、地域コミュニティが強化される
- ・ 私財に対して補助を受けることができる

- ・ 既存建物の構造により、改修コストがかかる可能性が生じる
- ・ 交通量が増えることにより、安全性を損なう可能性が生じる
- ・ 補助を受けるためには制約（取り壊せないetc）が課せられる

### ■ スモールアクションの重要性

- ・ アイデアを構築し、プロジェクト実行して計測し、データを学習して、次のアクションに反映させる
- ・ この一連のサイクルを回していくことが重要です。このサイクルをぐるぐると回しながら、小さな実験やアクションを重ねていくことが重要



出典：Build-Measure-Learnサイクル  
[作成＝東京大学 泉山墨威]

- ・外観調査による現状の可視化、住宅地図等更なる文献調査を実施し、問題を整理し課題抽出
- ・課題と上位方針を踏まえ、まち並み景観形成の目標（あるべき姿）と施策を設定

## 背景（地域固有、社会的）

### 文献調査

- ① 町割りが保全されている
- ① 消失した習わしの掘り起し
- ① 通りの歴史のアーカイブ



### 社会的背景

- ↘ 高齢化・空家化(跡継ぎ)
- ↗ インバウンド、外国人来街



## 現状

### 外観調査による現状の可視化

- ① セットバック、駐車場が散見
- ① 構造、外観基調色が不揃い
- ① 看板建築（伝統工法残存）

### その他

- ↗ 市外から神社参拝者来街
- ↘ 商店減
- ↗ 歴史的街路施工済

### 封じの宮として有名な八幡神社



## 上位方針

### 都市計画マスタープラン

- ✓ 中心部地域の将来像「水と緑を身近に感じ、歴史の風格が漂う 歩いて暮らせる便利なまち」

### 日本遺産認定ストーリー

- ✓ 長きに渡る繁栄を喚起させる多種多様な外観を有す足袋蔵
- ✓ 裏通りや路地を通ると時折聞こえるミシンの音

### 行田市ふるさとづくり事業の施工事例

- ✓ 建物：漆喰などの伝統工法の改修、工作物：黒塀・築地塀

### 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画

- ✓ 八幡通り周辺の出組の方向性「にぎわいを体感できる歩行者目線の散策路をつくる」

目標（あるべき姿、まち並みづくりとにぎわい創出のコンセプト）の設定

- ・外観調査による現状の可視化、住宅地図等更なる文献調査を実施し、問題を整理し課題抽出
- ・課題と上位方針を踏まえ、まち並み景観形成の目標（あるべき姿）と施策を設定

## 目標（あるべき姿、まち並みづくりとにぎわい創出のコンセプト）の設定

### 🔧 ハード施策案（まち並み景観形成）

- 🔪 景観ルールやデザイン誘導方針
  - ✓ 看板・門行灯等の新設
  - ✓ 緑化（かき、庭、ポット）
  - ✓ 通りの歴史を伝えるサイン
- 🔪 道路の2車線→1車線へ
- 🔪 補助制度
  - ✓ 統一感あるまち並み景観整備に向けた制度設計
  - ✓ 補助対象の明確化→指針などの策定

### 👤 ソフト施策案（にぎわい創出）

- 🔪 イベント
  - ✓ 駐車場や道路を利用したイベント
  - ✓ まち灯りイベント
  - ✓ 景観アイテム（暖簾etc）導入
- 🔪 建物活用
  - ✓ 住民主体の交流拠点創出（カフェ、ゲストハウスetc）
  - ✓ 空家定住化
  - ✓ 生業や商品を魅せる「まちかど博物館」

### ■ 旧東海道二川宿地区（愛知県 豊橋市）

色彩は、濃い茶色や黒色を基調とし、白色などの明るい色を使う場合は、濃い茶色や黒色とセットで使い、建物全体が落ちついて見えるようにしましょう。

素材は、自由ですが、木や漆喰などに調和する落ち着いた質感のものにしましょう。

壁や建具に格子のイメージを入れましょう。格子は、見る角度により建物の表情を変え、豊かな陰影をつくります。

パステルカラーや原色は、まち並みと不調和になるので避けましょう。

祭りの提灯のような温かな光で、夜の美しいまち並みをつくります。

空調室外機の覆いは、格子で覆うなど建築物に調和させましょう。

- 空調室外機の覆い
- 消火器箱
- ホース格納箱
- 電気メーター覆い

### ■ 道路占用したイベント（柏市）



### ■ まちかど博物館（小田原市）

Umeboshi (Pickled Plum) Museum/CHINRIU HONTEN

Innogy is the uniquely Japanese flavors of Ume, Shizu and Sakura in our family business that has been around since 1871. Established by the last chief cook of the Odawara castle, our shop does not only stock delicious Japanese specialties, but also displays traditional equipment that will give you a new understanding of the authentic production processes. After learning all about the traditional methods and flavors, you'll have the chance to experience modern creations such as Ume breweries and gummies or exotic plum wine!

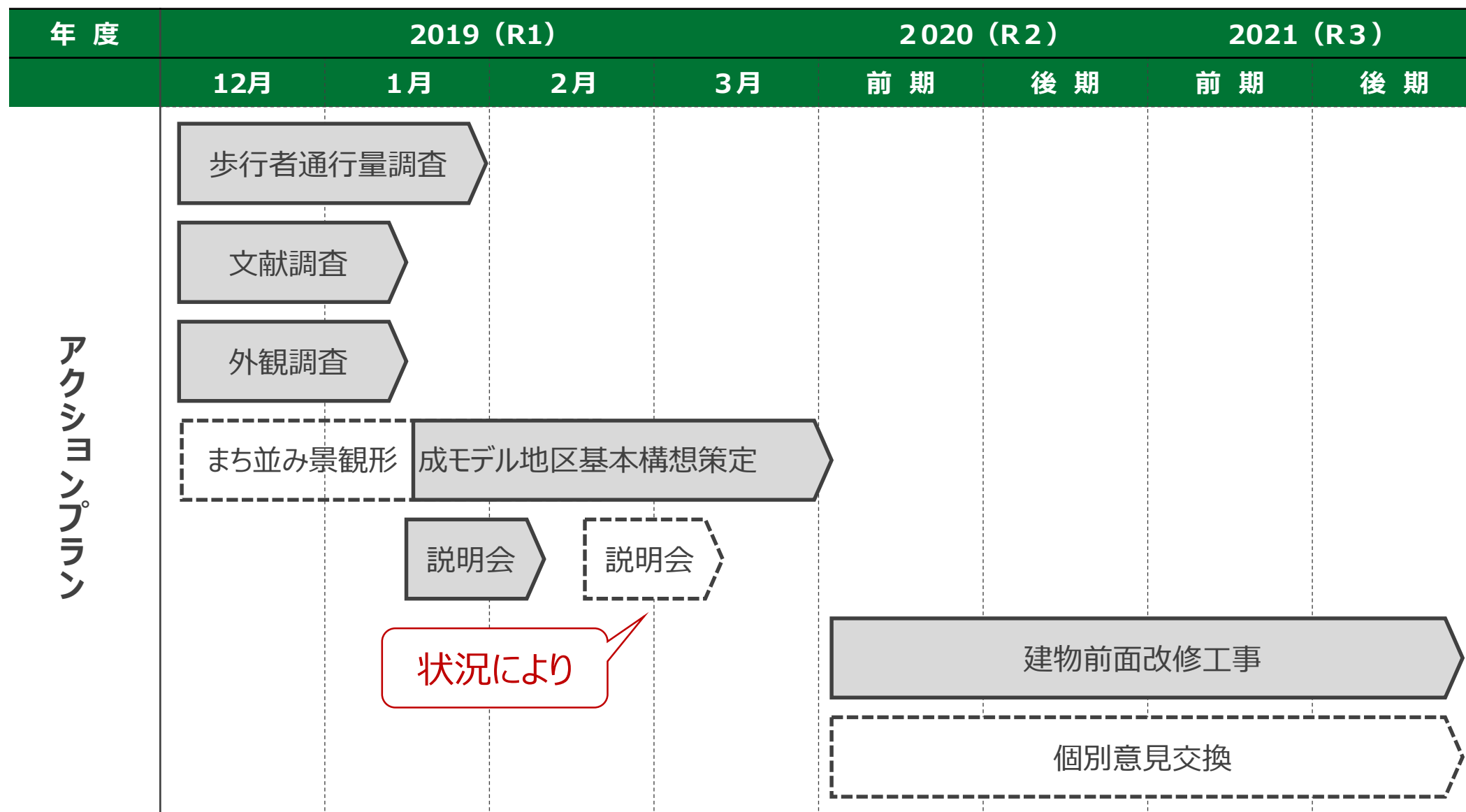
明治4年（1871年）創業。江戸東海道の宿場町に於いて、創業から150年以上の歴史を持つ。伝統的な製法を守り、独自の味と香りを実現しています。また、現代のニーズに応じた、梅酒や梅子ゼリー、梅子アイスなど、新しい商品も開発しています。

住所 小田原市南町1-2-1  
電話 0120-30-4951  
ホームページ www.chinriu.co.jp  
営業 9:00-18:00  
※休日 1月1日  
※Closed only on January 1st

小田原駅前梅干博物館「ちんりう本店」  
徒歩1分  
3分  
徒歩2分



- ・まち並み景観形成先導モデル事業3か年のアクションプラン
- ・本日以降、通行量調査および外観調査を受託業者（三井共同建設C）が実施



※合意形成の進捗状況によって、スケジュールが変更となる可能性があります